

座主さま商工会よりは量に伊那懐念記を封して應接の
中にもありたき事如一日更止若二回と一と極分合礼書事務の
應接を済ませた旨の申込ありたり然るに合記には既降は
尚ほおめて懐念の熱意を執り今後形勢の推移を考慮
すべしは要ありと学只其厚意を感謝し尚ほ場合を依
ては援助を乞ふ可し付其旨了承ありたり旨回答を致したる
ほど左商工会より代表者を派して各條其他を歴訪し
て予實一團の社会責任の努力を討し其熱意を
表す事と亦少りと云ふ

大正十五年五月二十八日

(了)